

ちづ

智頭議会 だより



鳥取県智頭町議会

第133号

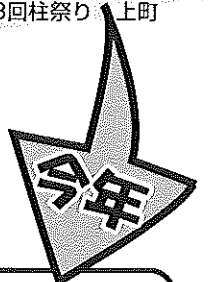
発行：平成28年1月21日

智頭の思い出シリーズ22



昭和19年
諏訪神社 第28回柱祭り 上町

- ☆ **補正予算を可決** ...P2
- ☆ **議会が町へ政策提言と行政評価結果を提出** ...P3
- ☆ **新議長就任** ...P5
- ☆ **8人の議員が町政に質問** ...P6~P13
- ☆ **委員会報告** ...P14~P17
- ☆ **町民の声** ...P18



第40回
柱祭り
4月17日(日)開催

12月定例会

山郷地区公民館移設費など可決

12月定例会(12月10日から18日)で、平成27年度補正予算案や条例案など10議案ほかを審議し、原案どおり可決しました。
 主な補正予算の内容は次のとおりです。
 一般質問には8人の議員が町政をただしました。(6〜13ページ)



山郷地区公民館移設費 326万円

■財源

町の貯金(地域活性化基金)

■事業内容

旧山郷小学校への移転(平成28年4月)に伴う事務所、調理室の改修

体育施設管理費 694万円

■財源

一般財源(町費) 394万円
 過疎債 300万円

■事業内容

旧山形小学校体育館屋根の雨漏り箇所増加に伴う工事費の増

東部広域行政管理組合への負担金 538万円

■財源

一般財源(町費)

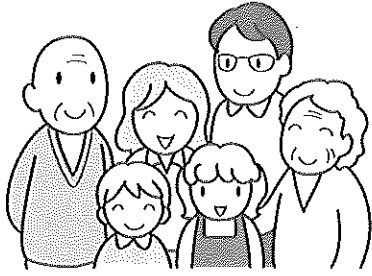
■事業内容

新可燃物処理施設に係る送電線接続をするための智頭町の負担金

智頭温水プールの修繕工事に伴う休業補償費

(12月〜2月)
 430万円

- ・新施設では「可燃ごみ発電」により中国電力へ売電を計画
- ・現状では電線の容量不足などで接続が不可能
- ・既算工事費 31億円
- ・工事期間 6年半



■平成27年度予算の補正 ■ 12月定例会 (全員賛成で可決)

区分	補正額	補正後の総額	主な補正内容(上記以外)	
一般会計	4257万円 増	70億6259万円	・生活保護扶助費(468万円) ・特別医療助成費(311万円) ・除雪委託料(1370万円) ・ふるさと整備土木費(300万円) ・ほのぼの保育所広域入所負担金 ⇒入所者増に伴うもの(196万円)	
特別会計	国民健康保険事業	428万円 増	11億1199万円	前年度国庫負担金の確定に伴う償還金の増と保険給付費の見込み増
	公共下水道事業	20万円 増	3億1613万円	支払額の確定に伴う消費税等の増
	農業集落排水事業	24万円 増	3億8821万円	//
	介護保険事業	1708万円 増	11億1913万円	前年度介護給付費の精算に伴う国・県への返納金の増

林業振興や町の特色を活かした教育推進など

議会が町長へ政策を提言

平成28年度の予算編成に向けて、次の事業・施策のさらなる充実、強化を図るよう提言しました。

① 若者定住促進

▽ 長期プランに具体的な目標を設定し推進

② 商工労働対策

▽ 光ケーブルを活用した企業誘致などを積極的に推進

▽ 地元企業や商店の育成支援を推進

▽ 未利用の町有財産の早急な活用

③ 観光振興の推進

▽ 観光スポットの掘り起こし

▽ 法人化を契機として、独立した運営

▽ 特産村の店舗の充実

④ 本町の特色を活かした教育の推進

⑤ 空き家対策に関する条例等の早急な整備

⑥ 地域包括ケアシステムの構築とそれに向けた

智頭病院の先導的役割の実施

▽ 検診率の向上と介護予防事業の充実

▽ 福祉事業の民間委託推進と人材育成支援充実

⑦ 農地の保全と農家所得安定化対策

▽ 生産者・グループの育成支援と集落営農、農地中間管理事業の促進

▽ 農産物、林産物の開発と販売システム構築

③ 有害鳥獣対策の強化

③ 智頭林業の再生に向けた独自政策の強化

⑧ 低コスト林業実現のための団地化促進と路網整備の拡充

▽ 自伐林家を含めた林業後継者育成支援

▽ 林産材の商品開発と販売強化

⑨ 道路、橋梁、砂防、河川

管理等の地域整備事業



政策提言書と行政評価結果を町長へ提出し説明しました(12月18日)

議会が町の事業を評価しました

今年度から初めての取り組みです。次年度事業への反映のため、町の前年度事業の中から抽出し、各議員の評価をもとに議会として集約して、町長へ評価結果を提出しました。

の充実

⑩ 民間との連携強化による地籍調査事業の促進

【平成26年度事業のうち、下表の事業を行政評価しました。】

事業名	概要	H26決算額	議会の評価	理由・意見
移住定住促進事業	住宅改修費、家賃の補助	2801万円	現状のまま継続	・概ね適切
住宅改修助成事業(リフォーム事業)	町内工務店等が町民の住宅を改修する際に補助	995万円	現状のまま継続	・住民の要望が高い ・抽選方法に留意
企業立地促進事業	固定資産、常勤雇用者数に応じて補助	0万円	見直して継続	・空き校舎の活用も検討すべき
観光協会運営費補助金	人件費等の補助	1979万円	見直して継続	・行政依存を脱皮し独立運営に努力を
特別支援教育支援員配置(小学校)	支援員への人件費	1045万円	現状のまま継続	・概ね適切だが支援員のさらなる資質向上を
健康診査事業	各種がん検診事業	2585万円	見直して継続	・受診率の向上策を図る啓発が必要
ホンモノの農産物づくり推進事業	集落支援員の人件費 智頭米ブランド化 他	402万円	見直して継続	・ニーズに対応できる量の確保等が課題
鳥獣等被害防止事業	侵入防止柵の設置補助 有害鳥獣補獲奨励金	2262万円	現状のまま継続	・狩猟者の増加を促すこと
間伐促進支援事業補助金	除伐、間伐の補助	588万円	現状のまま継続	・概ね適切
ふるさと整備土木事業	集落内の土木事業	1410万円	拡充	・設計、検査体制の充実や予算枠増を

陳情の審査結果 (不採択を除き全員賛成)

件名	提出者	担当委員会	審査結果
「名護市辺野古への新基地建設凍結と地方自治の尊重、国民的議論の推進を日本政府に求める意見書」提出に関する陳情書	反核・平和の火リレー鳥取県実行委員会 実行委員長 田中 修一	総務	不採択 (下記①)
平成28年度智頭町予算に関する陳情	智頭町木材協会 会長 山根 修	民生	採択
平成28年度森林・林業予算に関する要望書	智頭町森林組合 代表理事組合長 寺坂 安雄	民生	採択
平成28年度智頭町商工会育成補助金の要望について	智頭町商工会 会長 玉木 良房	総務	採択
陳情書 (所得税法第56条の廃止を求める意見書の提出)	鳥取民主商工会婦人部 部長 青木 二三子	総務	趣旨採択 (下記②)

- ①委員会の審査結果=県と国が係争中であることと、高度の政治判断が求められる事実。
2議員が討論を行い(下記参照)、採決の結果、「不採択」に賛成9人、反対1人(酒本議長と欠席の南議員を除く)で「不採択」と決定。
- ②委員会の審査結果=56条は、中小業者の家族従事者の給与が必要経費として認められていないとのことだが、青色申告すれば認められており、関係大臣も検討をしていることから廃止は時期尚早。
(趣旨採択とは、「願意は妥当であるが、実現性の面で確信がもてない」ということ。)

名護市への基地建設凍結の陳情に対する討論

反対討論 岸本眞一郎

この陳情は選挙で示された沖縄県内の民意を尊重し名護市辺野古新基地建設の凍結、地元の声を反映する政策決定、国民的議論を行うことを政府に求める意見書の提出であり、沖縄の基地負担軽減の責任を負う者として不採択には反対だ。

賛成討論 高橋 達也

陳情は3項目で、①建設凍結は、県と国が係争中で裁判で判断されること、②特別法の制定を求め住民投票結果を尊重せよは、論理的矛盾であること、③国民的議論の推進は理解できる。3項目中の2項目が不適切で、全体として不採択が適当。

マイナンバー関連など

条例案を可決

全員賛成

新規制定

一部改正

行政手続における個人番号の利用等に関する条例
【理由】番号法(マイナンバー法)に基づき、智頭町で個人番号を独自に利用する事務等について定める。

【概要】生活保護受給者のインフルエンザワクチン任意予防接種費用助成や、社会福祉法人等が行う利用者負担の軽減等に関する事務等で利用。

議会議員その他非常勤職員の公務災害補償等に関する条例
【理由】共済年金が厚生年金に一元化されたことに伴うもの。

【概要】支給額の調整率を改正。(傷病補償年金Ⅱ現在0.75↓改正後0.73 ほか)

町税条例

【理由】①県税条例に指定された住民の福祉の増進に寄与する特定非営利活動法人への寄附金控除の対象を追加。

②地方税法施行規則等の改正に伴うもの。

【概要】①倉吉鴨水館(大)学進学を支援する非営利活動法人)を追加。

②所要の規定を整備。

陳情書は定例会が始まる10日前までに提出してください。

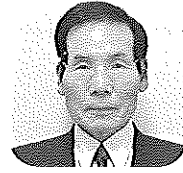
※詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

TEL 75-3115



新議長就任 (臨時議会)

南肇議長の辞任により、12月3日の臨時議会で、酒本敏興議員が新議長に就任しました。



議会の使命と
議員の職責を胸に
議長 酒本 敏興

議会は住民全体の代表者であり、奉仕者です。ただ単に住民の声と心を代弁するだけでなく、一歩踏み出して住民との対話や議論を重ねて調査研究を進め、時には住民に訴え指導して、その実現に努力することが大事と考えます。

地方議会は、「具体的政策の最終決定」と「行政運営の批判と監視」を本旨とし、行動しなければなりません。
平成23年の「智頭町議会基本条例」や平成27年の

「行政評価システム」導入は、地方分権に対応する智頭町議会改革の新たな挑戦の始まりです。私たちは、行政と議会が競い合う、活力ある地方自治を目指します。
町民各位の熱いご支援とご協力を切にお願い申し上げます。

【おくやみ】
前議長 南 肇氏は、平成27年12月26日に急逝されました。
謹んでお悔やみ申し上げますとともに、ご冥福をお祈りいたします。

新しい委員会構成です

新議長就任に伴い、変更しました。(平成27年12月28日現在)

氏名 (議席番号順)	年齢	当選回数	所属委員会				委員会が担当する内容	
			総務	民生	広報	議運		同和
高橋 達也	57	1	○		正		正	■総務常任委員会 総務課、企画課、税務住民課、教育委員会、会計課、水道事業に属すること及び他の常任委員会に属しないこと ■民生常任委員会 地域整備課、地籍調査課、山村再生課、福祉課、農業委員会、病院事業に属すること ■議会広報常任委員会 議会広報、広聴に関すること ■議会運営委員会 議会運営、会議規則、委員会に関する条例等に関すること ■同和问题調査特別委員会 部落差別をはじめとする一切の差別解消に向け、その取り組み等の調査研究に関すること
大藤 克紀	60	1	副			副	○	
岩本 富美男	66	1	○		副		○	
中野 ゆかり	48	2		○			○	
平尾 節世	68	2		正		○	○	
谷口 雅人	62	4		○	○		○	
岸本 眞一郎	66	4		副	○		○	
(欠員)								
徳永 英太郎	67	4	正			○	○	
石谷 政輝	63	4		○		正	副	
大河原 昭洋	50	1		○	○	○	○	
酒本 敏興	74	7	○				○	

正：委員長 副：副委員長 ○委員 中野ゆかり議員は議会選出の監査委員



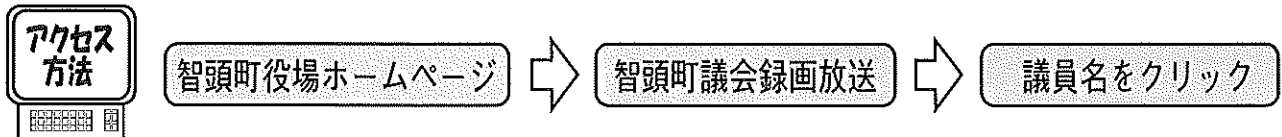
一般質問について

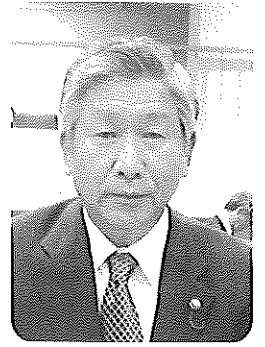
(次のページから)

一般質問とは、町政全般について町長などの執行部に疑問点をただし、所信の表明を求めることです。

- ※1 次ページ以降の内容は、質問者自らが要約・執筆したものを掲載しています。
- ※2 議会事務局で、住所・氏名を書いていただければどなたでも議場で傍聴できます。人数に限り(24席)がありますのでご了解ください。

一般質問の録画をインターネットで見ることができます。





石谷 政輝

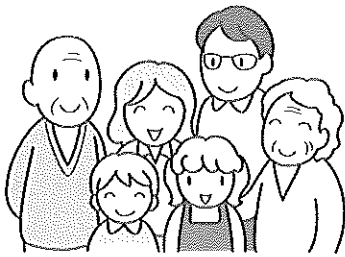
人権問題

差別解消に向けた今後の取り組みは
町長／差別のない町を本気で作りたい

問 日本特有の部落差別をはじめ、女性、外国人、障がい者など、現在も多く差別は残っている。生きやすい世の中になつたように思えるが、人の心に根深く残る差別心はネット上であからさまに溢れ、ヘイトスピーチ（憎悪な表現）も近年増加、人を差別し排除しようとする醜さが姿形を変えて表に出てきている。戦後70年の今、問題を先送りにせず、答を出しながら子や孫の世代

へとバトンを作り渡していくことが求められている。分岐点であり、過渡期にさしかかっている。町長のまちづくりの根底には、命・自然の恵みに感謝するという大切な思いを強く感じる。しかし行政全体の意識は足踏みのまま、足が止まっている職員もいるのではないか。いま一度はつきりとした現状認識と、今後について聞きたい。

答 町長 一定の成果が見られつつも同和対策生活実態調査結果では今なお大きな問題が存在している。新しい時代になればなるほど次から次へと新たな差別事象も起きています。同対策答申を踏まえ、差別がある限り必要な施策を積極的に推進してきたところだが、ますます見えない心と対峙し差別のないまちを本気で作ろうと改めて意を強くしている。



町道駅前線

道路整備の完成時期は
町長／1月に発注し29年度に完了

問 駅前スーパー付近は歩行者や車の交通量も多いが、路面の状態も悪いままで夜は街灯も少なく薄暗い。道路整備はいつ完成するのか。

答 町長 やつとめどが立ち、水路保守及び歩道設置工事を来年1月に発注する。今後は舗装及び歩道等の改修を平成29年度完了で計画している。

（その他、次期町長選挙について質問しました。）



早期整備が必要な町道智頭駅前線

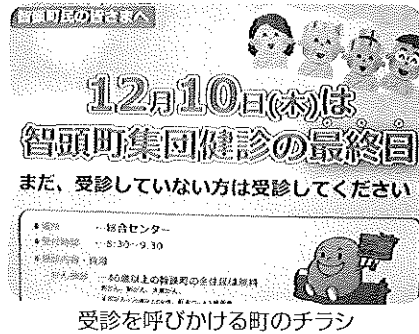


高橋 達也

受診率の向上策
低い本町、どのように向上させるのか
町長／未受診者への通知など啓発する

問 本町は、特定健診、がん検診の受診率(注)が低い、原因をどのように認識しているか。

答 町長 昨年、特定健診の未受診者1156人にアンケートを実施したところ、健康管理のために必要という意識がない、定期的に医療機関で受診中のため必要がない、という理由で受けない人が多く、健診に対する理解が十分でないことを認識している。



受診を呼びかける町のチラシ

問 県内の特定健診の受診率の第1位は江府町で52・8%だ。八頭町や若桜町も高い。他の自治体の状況を踏まえ、受診率の向上にどのように取り組むのか。

答 町長 受診率の高い自治体を調査したところ、①住民意識として毎年受ける習慣になっている、②未受診者へ受診勧奨の通知をしている、③かかりつけ医師が受診勧奨している、ということだった。

引き続き協会けんぽ(Ⅱ全国健康保険協会鳥取支部)と連携して、未受診者への受診勧奨の通知など、さまざまに取り組み、粘り強い啓発を続けていく。

注 特定健診、がん検診の受診率

特定健診は、生活習慣病の予防のため、40〜74歳を対象に平成20年度から始まり、平成25年度の智頭町の受診率は約25%で、県内ではワースト(低い順)3位。がん検診は、本町は平成26年度から無料。胃がん検診の受診率は約26%。

ウグイの生息復活
「じゃぶ」が食せるよう復活行動を
町長／漁協などと協議し継続検討する

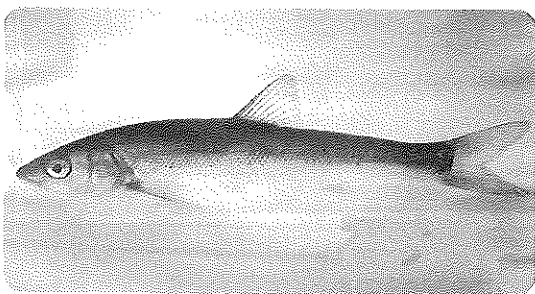
問 ウグイの生息が激減して久しいが、原因をどのように認識しているか。

答 町長 一番の原因は、千代川漁協も言われているとおりカワウによる食害だと認識している。

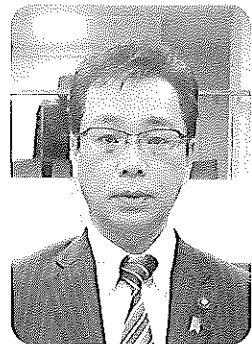
問 これから真冬の時期になると、以前はウグイの郷土料理である「じゃぶ」で体を温め、酒のつまみにもなっていたが、材料のウグイがいなくなったため食せない。「じゃぶ」の復活を視野に入れ、研究機関などと連携し、本町主導で復活プロジェクトを立ち上げてはどうか。

答 町長 智頭町主導での対応では限界がある。研究機関や千代川漁協などと協議・連携しながら広域的に幅広く継続検討してまいりたい。

智頭町が「じゃぶ」というテーマでやるのもおもしろいと感じているので、研究を検討させていただきたい。



インターネットで紹介されているウグイ



大河原 昭洋

木材産業

町長／さまざまな手法を検討する

問 町内工務店の建築受注件数は、年々減少している。智頭町の木材を活用した住宅建築事業を役場主体で立ち上げ、智頭杉の家づくりを建築希望者に提案する仕組みと、受注促進するためのシステムを構築する考えはないか。

答 町長 役場が住宅建築の窓口になることで、ユーザーに安心感を与えられるが、営業活動から問い合わせ対



薪ストーブを囲む温かな木造住宅

応、契約締結まで2人の専属職員が必要である。智頭材の販売促進には、さまざまな手法があると思うので、提案内容も参考に今後も検討する。

家庭教育

どのような視点で推進するのか
教育長／地域社会全体で支える

問 少子化や核家族化の進行、地域のつながりの希薄化など、家庭の教育力の低下が指摘されている。家庭は全ての教育の出発点であり、原点であると考えられている。本町はどのような視点で取り組むのか。

答 教育長 子育て世代が不安を抱え、孤立している状況も見受けられるので、親個々の問題として捉えるのではなく、地域社会全体で支える必要がある。

問 家庭教育の取り組みを進めてきた中で、これまで何ができて、何が不足し課題なのか、現状認識は。

答 教育長 親の教育が重要と感じている。公民館、PTA、消防団、婦人会、百人委員会など、社会教育の活動の場に住民をいかに引き付けるかが、今後の大きな課題と思う。

問 3歳までは人格形成など、精神的に大変

重要な成長を果たす時期である。乳幼児を家庭で保育希望する世帯に対して、町独自の支援策を実施する考えは。

答 教育長 乳幼児期の親子の愛着形成を図ることはとても重要と考えており、これまでの子育て支援事業のよりの一層の充実と併せて、提案の支援制度を前向きに検討する。



ママのおひざが大好き



平尾 節世

小・中学生の健康
 教育長／中学生の虫歯と未処置が課題

児童・生徒の健康状況はどうか

問 平成26年度の学校保健統計調査では、県内の児童・生徒の喘息や虫歯・アトピー性皮膚炎・視力10未満の比率が全国平均より高い智頭町の状況はどうか。

答 教育長 若干の善し悪しはあるが、全国平均と大差はない。しかし、中学生の虫歯なしの生徒は33%と全国平均の57%より悪く、未処置も多いので積極的に治療勧告をしている。



問 地区担当の先生と保健師が情報交換をし、目をゆき届かせては。

答 教育長 福祉課とは生まれた時から連携を取ってやっている。

小水力発電
 町の特性を活かし力を入れるべき
 町長／大いに勉強する必要がある

問 智頭町は93%が森林であり、そのおかげで豊富な水に恵まれている。この町の特性を活かした小水力発電に力を入れるべきと考え

る。町内に多くの水車ができれば独特の景観も生まれると思うが。

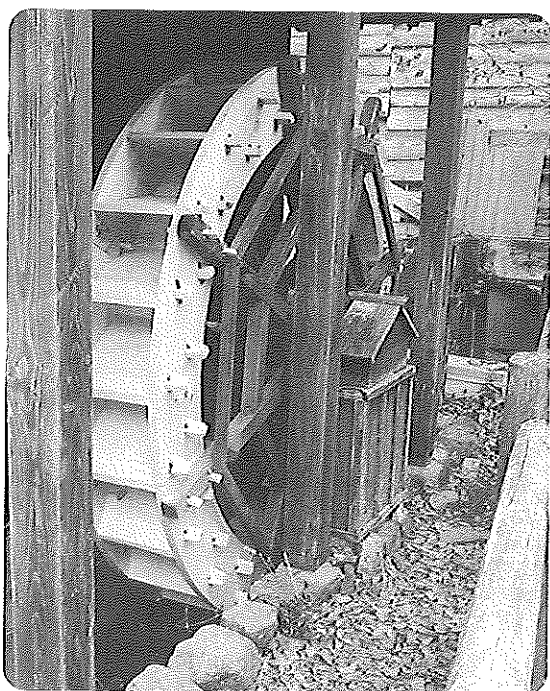
答 町長 小水力発電は環境への負荷が少なく、地域の条件に即したエネルギー活用だと認識しているが、水利権の取得や採算性のリスク、維持管理の体制整備などを熟慮しながら、今後も検討していく。また、木製の水車は発電量が少なくて難しいと考える。

問 智頭町全体では、年間で数億円の電気代が支払われている。小水力発電を補助電力とすれば多額の金額が町に残ることになる。水利権の問題は承知しているが、山梨県の都留市では3台の小水力発電で市役所の電力の約40%をまかなっている

ので方法はあると思う。また1台は木製の水車だが最大出力は金属製の物に劣ってはいない。メンテナンスも安価との情報がある。

答 町長 ロケーショ

ンの的に田舎らしい雰囲気というのであれば、地区振興協議会で作られたらどうかと思うが、小水力発電は大いに勉強してみる必要があると思っ



板井原に設置されている水車(発電利用ではない)



徳永 英太郎

町旗・国旗
 町長／掲揚台の設置を検討

役場庁舎の屋上に掲揚を

問 多くの行政機関では、国旗及び当該機関の旗を日常的に掲揚している。国旗は我が国の象徴であり、町旗はその町のシンボルである。本町でも庁舎の屋上に国旗・町旗を掲揚する考えはないか。

答 町長 以前は、庁舎屋上に国旗・町旗を掲揚していた。時期は不明だが常時掲揚を止めている。これは掲揚器具の経年劣化による破損により、その後修



智頭町役場 正面玄関側

理を施していないことによるものだ。掲揚台を点検したところ、器具の交換、ボールの修繕を要する。まずは庁舎正面玄関横に掲揚台を設置することを検討したい。

保育士の確保
 奨学金制度と独自の採用枠を
 教育長／今のところ考えていない

問 持続可能な町づくりを進めるうえで、子育て世代の定住は最重要課題の一つである。安心して子どもを生み育てられる環境づくりとして保育園の充実は言うまでもない。とりわけ安定した保育士の確保、スタッフの充実が重要だ。このことについてどのように考えているか。

答 教育長 安心して子どもを生み、育てることのできる社会の実現は、地域社会全体で取り組まなければならない重要な課題である。また、保育サービスの向上のためにも保育士の確保は重要な課題だ。

問 将来我が町で働いてもらうために、本町の独自の奨学金制度を採用するとともに、独自の採用枠を設ける考えはないか。

答 教育長 乳幼児期の重要性や特性を踏まえて発達に応じた質の高い教育・保育を提供

し、子どもの健やかな発達を目標としている。現在正規職員については、近隣市町村を含めて募集枠以上の応募がある。今のところ本町の独自の奨学金制度と採用枠については考えていない。





岩本 富美男

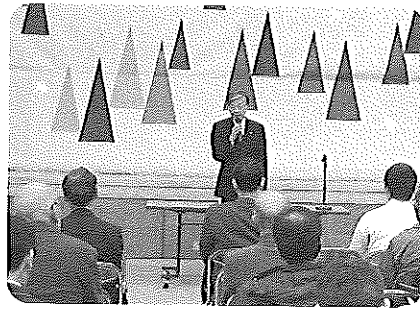
おせっかい

町長／肩を寄せ合って生きるための一言

どのようなおせっかいをやくのか

問 おせっかい(注)のまちづくりは、なかなか難しい問題のように感じるが、どのようなおせっかいをやくのか。

答 町長 昨今、非常に人間の生きざまに変化が出てきている。守秘義務、或いは個人情報、他人のことにとかく口を出してはいけない。そういう社会、何かちよつとむなし社会に変貌してきたよ
うな気がする。
しかし、いい意味の



おせっかいのまちづくり宣言(12月1日)

おせっかいが智頭町に蔓延したならば、それが地域で肩を寄せ合いながら生きていける、そういう町になるのではないかと思う。
地方創生というのは、

地域が良くなるためにあると思う。地域が幸せになるということは、土台がしっかりしておかなければいけない。そこで智頭町は、おせっかい宣言の町ということ提言した。町が集落がお互いに肩を寄せ合って生きるような、そういう町にした。ぜひ皆さんも勇気を出して、人のために汗をかいておせっかいというテーマに取り組んでいただきたい。

注 おせっかい 智頭町は、「おせっかいのまちづくり」を宣言した(12月1日)。隣近所の付き合いや人間関係が希薄化しているため、支え合いの輪が広がるように、少しの「おせっかい」が大事になる、との考え。

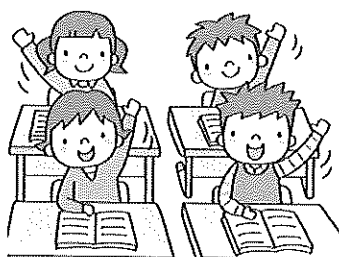
おせっかい

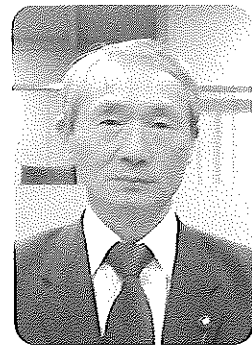
小中学生に差別のないおせっかいを
町長／差別、いじめのない社会を望む

問 小中学生のおせっかいは、勇気もいるだろうし、いじめや差別が起これなければいいかと、かなり心配している。未来のある小中学生に対しての考えはどうか。

答 町長 小中学生へのおせっかいは、なかなか難しいが、おせっかいは、心を通わせる手段として捉えている。差別のない、いじめのない温かい社会を望むもので、深く干渉するようなおせっかいを推進するものではない。
人の弱みをえぐるような、それはまさに悪いおせっかいであって、今この人に勇気を出し

て言うと、この人は立ち直ってくれるんじゃないか、この人のために自分は犠牲になつてもいいから言つてあげよう、おせっかいしよう、そういう気持ちからの智頭町のおせっかいということを理解していただきたい。



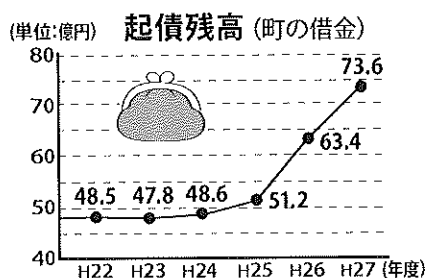


岸本 眞一郎

来年度の予算編成
町長／歳入に合わせた歳出が基本
財政が厳しい中での予算編成は

問 町の基金残高が28億8千万円から21億1千万円に減少。起債残高は25年度の51億1千万円が73億6千万円に急増している。
町長の財政状況の認識と来年度予算編成の基本方針は。

答 町長 生産労働人口の減少などによる町税の減少の他、特別会計・企業会計への繰出金の増加、さらに近年の大規模事業による公債比率も大きく上昇す



る見込みの中、地方交付税など依存財源に頼る不安定で脆弱な財政構造だ。
財政状況は厳しさが増す中、めりはりをつけた歳入にあった歳出が基本条件だ。

行政改革

町長／職員もアンケートを希望
行政評価に町民の声を

問 本来ならば昨年9月に見直された総合計画に合わせて変更されるべき行政改革プランが28年3月にできるようだが、
① プランに含まれる政策の範囲と想定年限はどのように。

答 町長 政策の範囲は第6次総合計画、智頭町総合戦略、28年度から5カ年の過疎地域自立促進計画、さらに公共施設等管理計画など勘案し、27年度から31年度までの5年間だ。

問 ② 起債残高急増に伴う償還財源の対応は。

答 町長 大規模事業等によって、平成32年度に償還のピークを迎える見込みのため、事業精査は必ず行い、安易な活用はしない。

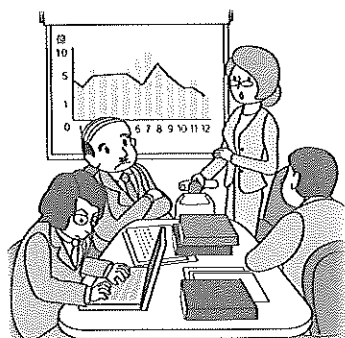
問 ③ 事務事業のスクラップアンドビルドのバランスの取り方は。

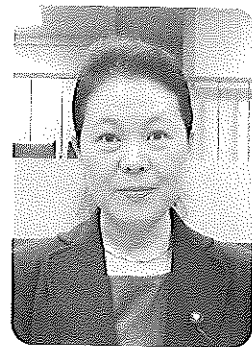
答 町長 新規事業についてはスクラップアンドビルドが原則で、新たな補助事業を創設する場合は、既存の類似事業や事業効率の検証を行う。

問 ④ 行政評価の範囲拡大と、町民の声を反映する仕組みが必要なのは。

答 町長 本年度実施した評価結果を検証し、範囲拡大について検討したい。
職員が自分たちのやっていることが住民に通じているか、アンケートを取りたいと言っている。

※スクラップアンドビルド 非効率となったものを廃止して新しいものに置きかえること





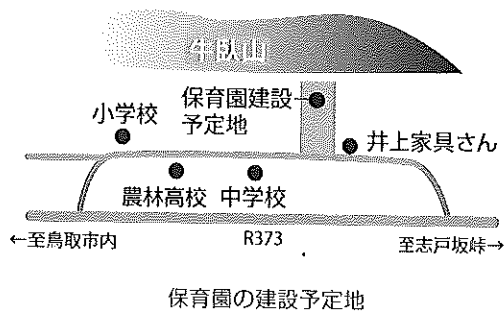
中野 ゆかり

保育園

建設の進捗状況を問う
 教育長／平成28年度に完成予定

問 現在、平成28年度完成をめどに「あたご保育園」と「諏訪保育園」を一園化する計画が進められている。しかし、完成イメージ図も、完成までの工程表も見たことがない。また、どのような保育をしていくのか方向性も聞いたことがない。現在の進捗状況を問う。

答 教育長 開発許可申請業務と設計業務が若干遅れているが、平



保育園の建設予定地

成28年2月下旬に造成工事の入札・発注を行い、5月には園舎の建設工事の入札・発注にかかる。28年度末の完成を当初計画どおり目ざしている。

保育園

保育園か、認定子ども園にするのか
 教育長／保育園のままでもいい

問 前藤原孝教育長は、一園化する保育園に対し「方向として、日本全国が認定子ども園になっていくと思うので、今度作る園は、従来の幼稚園と保育の機能を併せ持ったものになるうかと思う」と、平成25年9月定例会の私の一般質問の答弁で語られたので改めて長石教育長に問う。一園化する保育園は認定子ども園にするのか、保育園か。

答 教育長 保育園のままを進める。

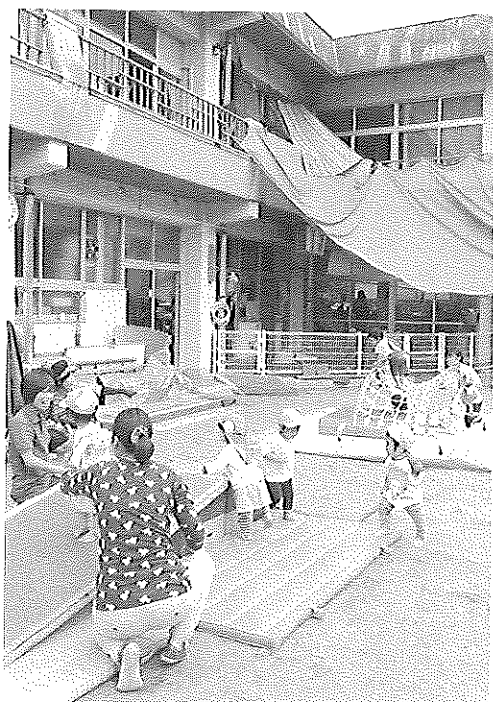
問 現在山郷地区にある子育て支援センター

は、遠いので利用しづらい、という声がある。そこで、子育て支援センターを新設する保育園に併設する考えはなにか。

答 教育長 利用者のプライバシーを守りながら、保護者、家族の情緒の安定を図る場所です。新園舎から分離して位置づける。

問 保育料を2子めから無料化することにより、若い世代の生活費の負担軽減につながる。同時に、子どもを1人でも多く産もうとする機運づくりにつながると思うがどうか。

答 教育長 2子めから無料化すると、1年に約400万の経費がかかる。町の財政を圧迫する要因にもなるため難しい。



あたご保育園

図書館づくり子育て支援等を視察

■視察日：平成27年
11月18日・19日

■視察地

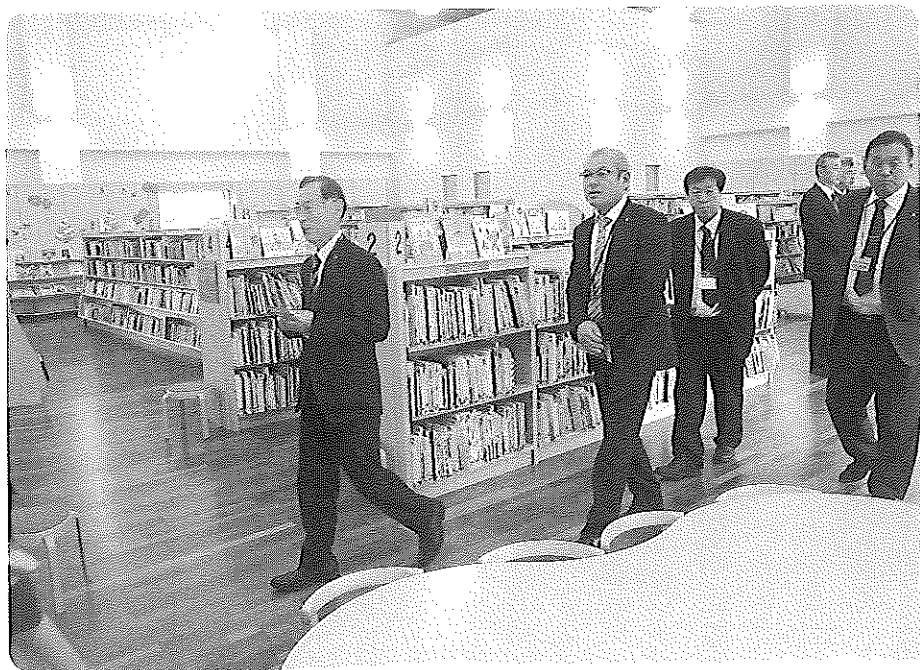
- ① 岡山県赤磐市
赤磐市立中央図書館
- ② 兵庫県相生市
相生市役所
- ③ 兵庫県神戸市
神河町役場

■視察目的

- ① 図書館づくり
- ② 子育て支援
- ③ 定住促進

■概要

① ゆとりと潤いに出会う図書館をテーマとして、低書架と高い天井で開放的な室内と、やわらかな自然採光が差し込む空間づくりを行っています。また、水と緑に面した閲覧コー



開放的な空間づくりを視察(赤磐市立中央図書館)

ナーは、ゆつくりと読書を楽しむことができ、テーマごとに資料をまとめた個室型閲覧席では調査研究ができます。

② 人口減少対策を最重要課題として捉え、選択と集中による投資を行い、自主的・自立的な地域経営を旨としています。その姿勢を示すため「子育て応援都

市宣言」を行い、11の施策を取り入れ、子育て世代を対象に定住促進を図っています。中でも、市立幼稚園の保育料の無料化、幼・小・中学校の給食費の完全無料化、5・6年生を対象とした無料の学習塾などは特筆すべきです。

③ 空き家、空き土地、空き店舗等、空き家バンクの情報を写真入りで町のホームページで紹介しています。若者世帯向けの家賃助成制度や、住宅取得支援事業の他、高速通信ネットワークを活用したIT関連の事務所を開設する事業者に、経費の一部を助成しています。町は仲介のみで契約は不動産業者を通して行っています。

■まとめ

いずれも人口減少問題に取り組み自治体においては、移住・定住促進の対策として、重要な施策です。

本町においても、いかにして他町村との差別化を図るか、特徴のある施策を打ち出すかが課題です。



空き家バンクなどの取り組みを学ぶ(神河町役場)

農業・林業の先進地（岐阜県）を視察

■視察日：平成27年

11月12日・13日

■視察地：岐阜県

①恵那市

山岡おばあちゃん市

②東白川村

東白川村役場

■視察目的

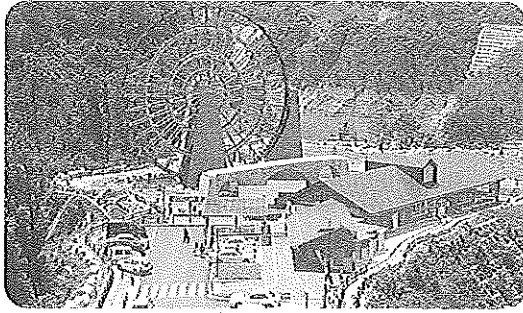
町政の基軸と位置づけている農業・林業の先進施策を調査研究し、販路拡大システムや手法を本町の施策に役立てるため。

■概要

①高齢化がどんどん進むこれからを、生涯現役の考え方のもと、おいしい余剰野菜や米を持ち寄って売ってはどうかだろうと考え、平成7年に13人の会員でス

タートしました。

活動は広がり、12の手作りの店が起業し道の駅で販売するなど、地域資源をアイデアで活かし6次産業化にこぎつけ、2つの拠点で昨年の来客数、約65万人、売上げ2億8900万円を記録しました。



日本一の水車が目印 道の駅「おばあちゃん市」

②東白川村は東濃とうのうヒノ

キの産地で、村の林業出口政策を主要課題とし、林業事業体「フォレストスタイル」を立ち上げました。FSC認証（環境保全に配慮し、国際機関が認証）された木材を製材、プレカット協同組合で加工し、24人の建築士、10社の工務店の中から村の職員が中立の立場でインターネットを利用して客に提案、サポートしています。（建築時に必要な柱材はすべて村が贈呈）

平成21年は14棟であった事業実績が平成25年には29棟と倍増しています。

■まとめ

今回の2カ所に共通していたのは、生産・加工・流通と、一本にまとまった販売戦略にあったと思います。

しかし、その運営手法は対照的でした。

山岡のおばあちゃん市は、退職した市の職員が株式会社を立ち上げたのに対し、東白川村は役場職員が中心です。

手法は違っても、地域に大きな雇用と所得を生んでいることは、

地方創生の一つのあり方ではないかと思いましたが。

農業、林業の違いはあっても、本町にもこのようなシステムの構築が急がれると感じました。



林業の出口政策を学ぶ(東白川村役場：正面中央が今井村長)

部落差別と戦争の歴史を学ぶ

■研修日：12月22日

■研修場所：福山市人権平和資料館

■参加者：議員11人

議会事務局職員2人

■研修概要

部落の歴史と解放のあゆみ、福山空襲の実相について、資料館の職員から説明を受けました。

▽部落の人々が貧しい中で抛出されて購入した昔の消防ポンプが展示してあり、地区外での火災時にも率先して消火活動した行動に、思わず首を垂れました。

▽福山空襲の惨たらしさを学び、展示されている母子3人像（戦災死没者慰霊の像）

の実相を知る人から直接お話しを聞いたという職員さんの説明に心を打たれました。

▽人権が保障され、差別のない社会に向けて取り組む大切さを再認識しました。



総合戦略の認識を深める

― 東部町議会議長会 議員研修会 ―



野川県統轄監の講演

■研修日：11月17日

■研修場所：若桜町公民館 集会室

■参加者：議員11人

議会事務局職員2人

■研修概要

東部4町（智頭町、八頭町、若桜町、岩美町）で毎年会場を持ち回りで開催しています。

▽講師 鳥取県統轄監 野川 聡氏

▽演題 総合戦略について

▽要旨 県と東部4町の総合戦略の概要について認識を深めました。

地方創生、安倍政権の行方など拝聴



鳥取県町村議会議員研修会

■主催：鳥取県町村議会議長会

■研修日：11月24日

■研修場所：北栄町「大栄農村環境改善センター」

■参加者：議員11人

議会事務局職員2人

■研修概要

①演題 地方創生と地域特性

講師 鳥取環境大学教授

千葉 雄二氏

②演題 安倍政権の行方と

参議院選挙

講師 NHK解説委員（政治担当）

太田 真嗣氏

離島の条件を逆手にした取り組みを学ぶ

■調査日：平成27年
10月19日～21日

■参加議員：11人

■調査の目的

本町の町づくりを推進するため、観光・商工業振興、自立の町づくり、地場産業・特産物振興について事務・事業の調査を行いました。

■調査地と内容

①島根県隠岐の島町

廃校になった小学校を利活用した「隠岐の島ものづくり学校」は、現在9教室が伝統や資源を活用してビジネスとコミュニティー（地域社会）を生み出す、ものづくりに関連する分野の創業支援の場と

して活用されています。

また、隠岐の島と都心をつなぐ映像配信ネットワークシステムや、トワークシステムや、展示、ワークショップスペース（課題について検討を重ねる場）としても活用されています。この学校を拠点としたビジネスプランコンテストでは、この4年間に6事業が採用され、それぞれ月額10万円の支援を受けて起業をしています。

②島根県海士町

平成25年までの10年間に294世帯437人の移住者があり（定着率55%）、町営住宅150戸、空き家リニューアル町営住宅57戸が整備されており、移住者や若者に対する

施策が充実しています。

廃校の危機にあった県立隠岐島前高校では、魅力化プロジェクトを立ち上げ、また、公設の学習塾「隠岐國学習センター」を設立し、高校との連携により学習意欲を高めるなどを行い、島外県外からの留学増加に繋がっています。その結果平成27年

度の募集定員は1学級から2学級となり島外から27名が入学しています。また、国公立、有名私学への進学率もアップしています。

■まとめ

2つの町を視察し、離島という条件不利地域にありながら、隠岐の島町では、現在の社会

に対応する政策をとりながらも「国の政策に關係なく」足元を固めています。海士町では、町民と共に「とにかく動く、動けば社会が変わる。攻める姿勢こそが改革を生む。」という考え方を本町も積極的に取り入れるべきと感じました。



創業支援について説明を受ける（隠岐の島ものづくり学校）



自立の町づくりを学ぶ（海士町 隠岐國学習センター）

いし たに け じゅう たく ち づ ぶるー たく さん み りよく とも
石谷家住宅・智頭藍 沢山の魅力と共に

智頭町地域おこし協力隊「チームいちづ」 西山美彩子さん

私は昨年(2019年)の4月に、地域おこし協力隊として智頭町へ移住してまいりました。出身は兵庫県ですが、鳥取大学への入学をきっかけに鳥取県を好きになり、卒業後、兵庫での1年を経て智頭町への移住を決めました。現在、石谷家住宅を中心にガイドやチラシ制作、智頭宿の古民家活用などに取り組みさせていただいております。皆さまもよくご存知の通り、石谷家住宅は、威厳に満ちた、美しく壮大な建築物として、年間約3万人のお客さまが訪れ・愛していただいております。今後はお客さまに、より長時間智頭で滞在していただけるような仕組み作りができればと思っております。

また、智頭宿における魅力のひとつとして、藍染がごさいいます。地元の方がつくりあげてきた智頭の藍染めは、藍葉の栽培から一貫して行う全国的にも大変貴重な「ホンモノ」です。これを是非継承させていただきたいと思い、町民6人と共に若手藍染継承グループを結成し、現在藍染の継承活動に取り組んでおります。智頭町へきて、周囲の方々よりまるで本当の子ども孫のようによくして頂き、今の生活がこの上なく幸せだと感じております。「移住者」という枠を超え、私自身が智頭町民のひとりとして、一生懸命に未来を切り開き、皆さまと思う存分笑い合いながら、かけがえないこの智頭町と一緒に守っていかれたらと思います。終わりに、町議会の皆さまにおかれましては、智頭宿でのイベント等に積極的にお越しいただき感謝申し上げます。今後とも、智頭宿が観光地および歴史的景観として、ますます多くの方に愛していただけるよう、ご助力いただけましたら幸いです。



**前号の表紙写真の
現在地は？**

前132号の表紙写真について、現在地をお尋ねしましたところ、数人の方から情報をお寄せいただきました。場所の特定までには至りませんが、駅前から役場前の通りのどこかであるようです。情報をいただきありがとうございます。ありがとうございました。



編集後記

新年度は保育園の新築工事が始まります。智頭町の未来を担ってくれる子どもたちの成長の場となる保育園を建設するに当たり、近隣住民の皆さまに、騒音・交通の便においてご迷惑をおかけしますがご協力ください。

智頭町の皆さまのこの一年が健康で穏やかな年となりますよう心よりお祈り申し上げます。(岩本)

編集 議会広報常任委員会

- 委員長 高橋 達也
- 副委員長 岩本富美男
- 委員 谷口 雅人
- 委員 岸本眞一郎
- 委員 大河原昭洋
- 発行責任者 議長 酒本 敏興